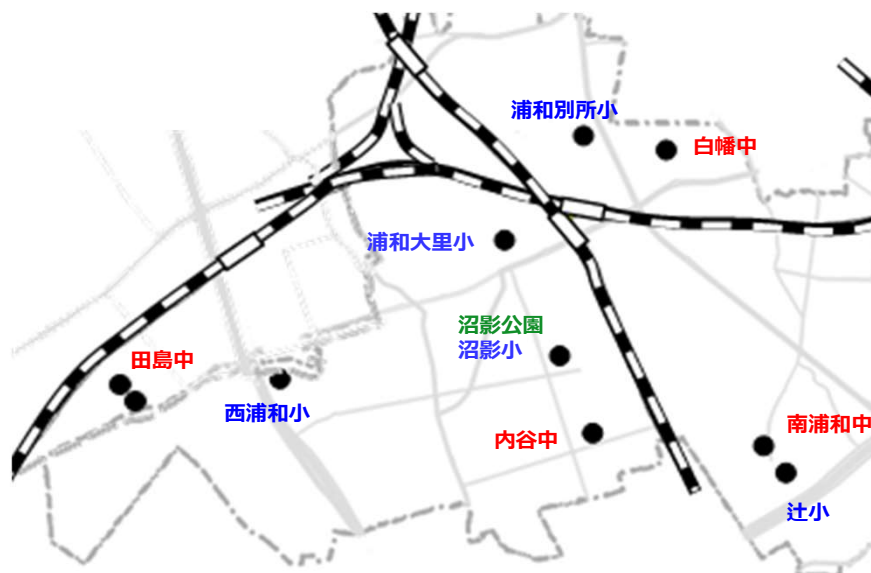




武蔵浦和駅周辺地区 義務教育学校の設立について



武蔵浦和駅周辺地区

- 武蔵浦和駅から概ね2 km圏内
- 内谷中学校区と関連がある小・中学校

小学校：5校
中学校：4校



1. 武蔵浦和駅周辺地区の小・中学校の現状と課題

令和3年度	児童生徒数 (特別支援学級を含む)	標準学級数 (通常学級のみ)	学校規模	1人あたり 校庭面積	市平均との比較
小学校平均	660人	20学級	—	16.6㎡	100%
浦和別所小	1,151人	33学級	過大規模校	4.5㎡	27%
沼影小	1,079人	30学級	大規模校	7.6㎡	46%
浦和大里小	944人	27学級	大規模校	10.0㎡	61%
西浦和小	864人	24学級	適正規模校	6.9㎡	42%
辻小	579人	18学級	適正規模校	14.4㎡	87%
中学校平均	544人	15学級	—	29.7㎡	100%
内谷中	958人	25学級	大規模校	8.1㎡	27%
白幡中	697人	19学級	適正規模校	10.0㎡	34%
南浦和中	668人	17学級	適正規模校	15.4㎡	52%
田島中	795人	21学級	適正規模校	21.7㎡	73%



※ 過大規模校：31学級以上
 大規模校：25～30学級
 適正規模校：12～24学級

※ 「市平均との比較」とは、
 各校の1人あたり校庭面積を同面積の市平均で除したものの



1. 武蔵浦和駅周辺地区の小・中学校の現状と課題

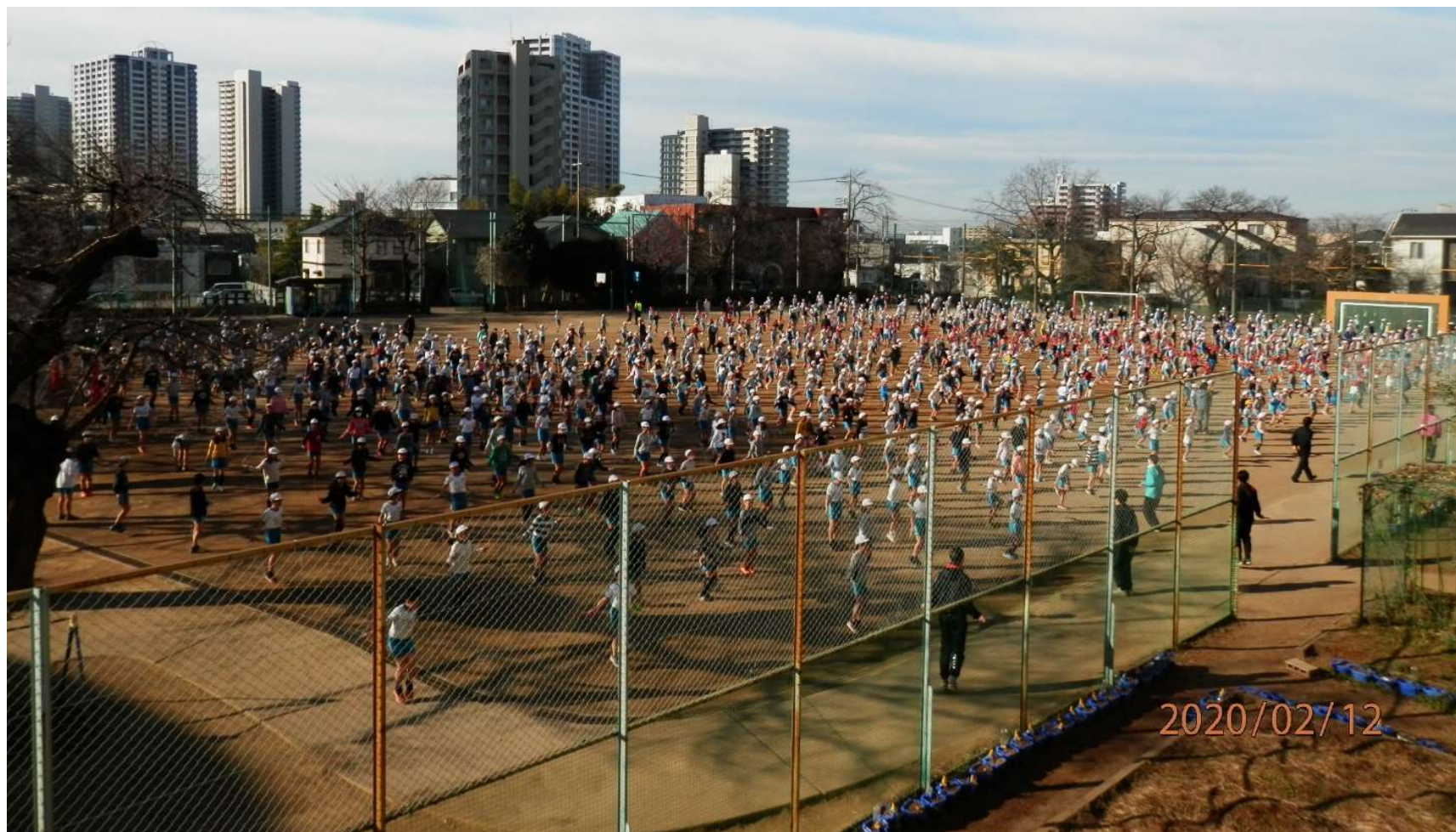
● 学校の現状 ～1年生を迎える会～（令和元年度）





1. 武蔵浦和駅周辺地区の小・中学校の現状と課題

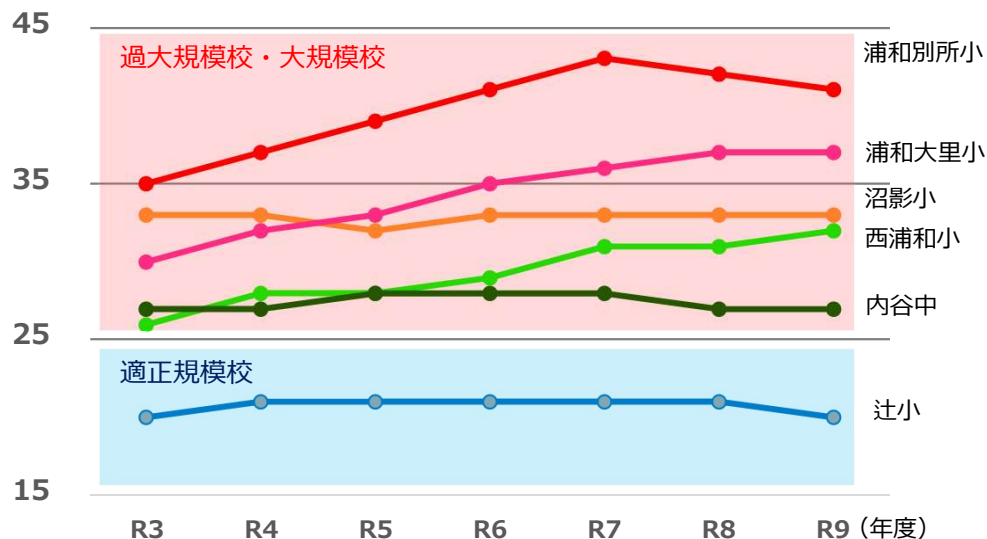
● 学校の現状 ～グラウンドの現状～ (令和元年度)





1. 武蔵浦和駅周辺地区の小・中学校の現状と課題

● 学級数の推計 ※ 令和3年5月1日 住民基本台帳に基づく推計値（特別支援学級を含む）



- 小学校5校で19学級増のため、小学校1校の設置が必要となる
- 将来的には中学校1校の設置も必要となる見込み

校種	(平均) 敷地面積
小学校	17,461㎡
中学校	23,403㎡

～1人あたり校庭面積の推計～

	令和3年度		令和9年度	
	1人あたり校庭面積	市平均との比較	1人あたり校庭面積	市平均との比較
小学校平均	16.6㎡	100%	18.2㎡	100%
浦和別所小	4.5㎡	27%	4.1㎡	22%
沼影小	7.6㎡	46%	8.5㎡	47%
浦和大里小	10.0㎡	61%	9.1㎡	50%
西浦和小	6.9㎡	42%	6.1㎡	33%
辻小	14.4㎡	87%	15.3㎡	84%
中学校平均	29.7㎡	100%	33.6㎡	100%
内谷中	8.1㎡	27%	8.1㎡	24%
白幡中	10.0㎡	34%	8.3㎡	25%
南浦和中	15.4㎡	52%	15.1㎡	45%
田島中	21.7㎡	73%	25.0㎡	74%

- さらなる1人あたり校庭面積の減少が見込まれるため、仮設校舎・増築校舎の建設は不可能



- 再開発の進む武蔵浦和駅周辺地区では、用地取得が困難
- 市有地の活用の方向性で調査・検討を行った



2. 義務教育学校とは

「義務教育学校」制度の創設と目的

学校教育法改正（H28.4施行）により、**学校教育制度の多様化及び弾力化を推進するため**、
現行の小・中学校に加え、**小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校」**の制度を創設。

【設置の目的】

- ① 地域の実情や児童生徒の実態など様々な要素を総合的に勘案して、設置者が主体的に判断できるよう、義務教育を行う学校に係る**制度上の選択肢を増やす**ため。
- ② 小・中一貫教育を通じた学力の向上や、生徒指導上の諸問題の解決に向けた取組、学校段階間の接続に関する優れた取組等の普及による、**公教育全体の水準向上に資する**ため。
- ③ 小学校段階と中学校段階を一貫することによって、**教育活動を充実させる**ため。

義務教育学校設置のメリット

【学年編制】

6－3年制にとらわれない自由な学年編制によるきめ細かな教育を実現！

【教育課程】

柔軟な教育課程の編成によりSTEAMS教育など、特色ある教育を推進！

【一貫した指導】

9年間一貫の教育によるメリットを最大化し、発達段階に応じたきめ細かな指導を実現！

【異学年交流】

活発な異学年交流により、児童生徒の社会性やコミュニケーション能力を育成！



**義務教育学校の設置により、
教育の質の向上・質的転換に加え、持続可能な教育環境を実現！** 6



3. 義務教育学校（学園構想）設置イメージ



【浦和大里小学校】



【内谷中学校】

義務教育学校（学園構想）



【沼影公園（屋内プール）】
＜新校舎の建設＞

【沼影小学校】

義務 1～4年	800人×2校舎
義務 5～9年	2,000人×1校舎



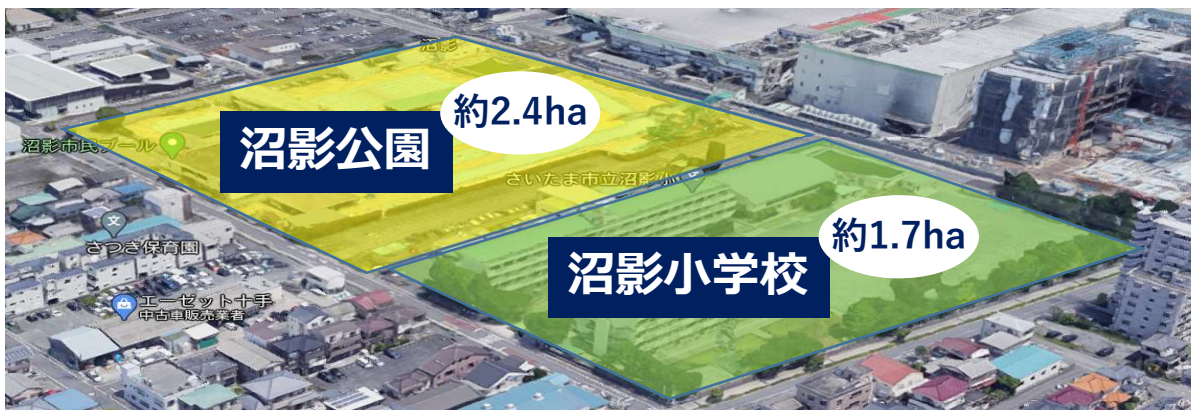
- 既存校舎の有効活用 ※ 内谷中は小学校仕様に改修
- 必要最小限の学区変更
- 人口減少局面を見据え、柔軟な施設構成が可能



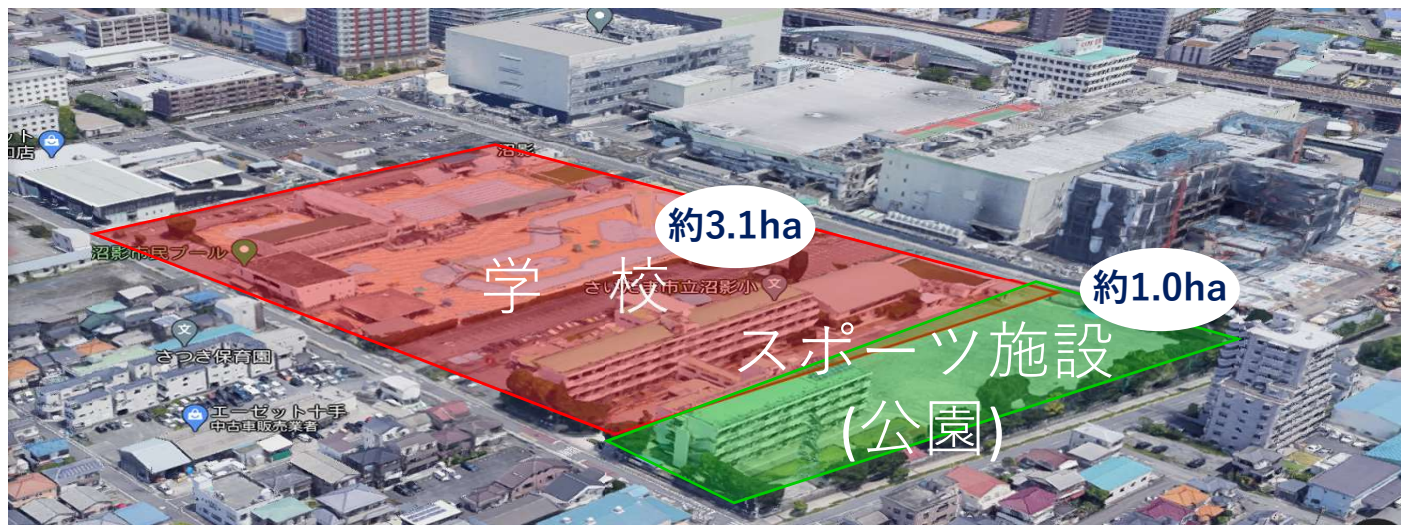
3. 義務教育学校（学園構想）設置イメージ

● 新校舎の設置イメージ

【現況】



【計画】





3. 義務教育学校（学園構想）設置イメージ

● 1人あたり校庭面積の改善

令和9年度	校庭面積	児童生徒数	1人あたり校庭面積		令和9年度	校庭面積	児童生徒数	1人あたり校庭面積
沼影小	8,158㎡	957名	8.5㎡		沼影校舎	22,808㎡	約2,000名	11.4㎡
浦和大里小	9,466㎡	1,039名	9.1㎡		浦和大里校舎	9,466㎡	約800名	11.8㎡
内谷中	7,764㎡	957名	8.1㎡		内谷校舎	7,764㎡	約800名	9.7㎡
					学園全体	40,038㎡	約3,600名	11.1㎡
浦和別所小	5,204㎡	1,278名	4.1㎡		浦和別所小	5,204㎡	約800名	6.5㎡
西浦和小	5,965㎡	980名	6.1㎡		西浦和小	5,965㎡	約850名	7.0㎡
辻小	8,339㎡	545名	15.3㎡		辻小	8,339㎡	約550名	15.2㎡
白幡中	6,948㎡	841名	8.3㎡		白幡中	6,948㎡	約800名	8.7㎡
南浦和中	10,285㎡	680名	15.1㎡		南浦和中	10,285㎡	約680名	15.1㎡
田島中	17,250㎡	690名	25.0㎡		田島中	17,250㎡	約690名	25.0㎡



- 義務教育学校の3校舎において、1人あたり校庭面積が改善される
- 義務教育学校の設置に伴う通学区域の変更により、周辺校についても改善される



3. 義務教育学校（学園構想）設置イメージ

4-3-2年制による学校生活





3. 義務教育学校（学園構想）設置イメージ

教育課程の工夫改善 ～「真の学力」を育成するために～

- すべての児童生徒が、いつでもどこでも誰とでも学べる学習体制の充実
- ICTを活用したインタラクティブな授業による、学年・学級の枠組みを越えた協働的な学びの充実
- 学園の規模を生かし、小空間から多目的スペースまで、多様な施設をフル活用した学習活動の充実
- 義務8・9年生を進路選択準備期間として位置付ける、夢をはぐくみ世界に羽ばたくキャリア教育の充実

教育活動の連続性の確保 ～社会性をはぐくみ、自己肯定感・自己有用感を高めるために～

- 4-3-2制を生かし、義務4年生、7年生、9年生の発達段階に応じたリーダーシップの育成
- 同一学年同士の横の交流と異学年同士の縦の交流をミックスした、グループダイナミクスとダイバーシティに富む教育活動の展開
- 4千人規模の児童生徒がダイナミックに交流し活動する学校行事の工夫

教職員間の連携・協働 ～児童生徒の健やかな成長を支援するために～

- 義務教育学校としての9年間一貫の教育と3校舎を活用した学園としての一貫性を融合させた指導体制の充実
- 9年間のつながりを生かし、ICTを活用した相談・支援体制の充実
- コンテンツ製作・編集のスタジオや、情報交換に活用できるラウンジの設置等、円滑に業務を行える執務空間の整備

家庭・地域との連携・協働 ～よりよいスクール・コミュニティを構築するために～

- 地域住民と児童生徒が気軽に触れ合える環境の構築
- 「交流ラウンジ」や「憩いのパスウェイ」を拠点とした地域住民の学校施設の活用
- 地域も児童生徒も共に学び共に成長するための積極的な学校施設の開放





4. ユニット制導入イメージ



【適正な規模での教育活動】

各ユニットが800名程度となることで、適正な規模での教育活動を実現！

【交流活動の活性化】

ユニット内の縦の交流、ユニット間の横の交流など、多様性に富んだ交流活動を実現！



きめ細かで効率的・効果的な指導を実現する
ユニット制を導入したアットホームな学園



4. ユニット制導入イメージ

ユニット制とは

- ユニットとは700名～800名の児童生徒で構成した学年を縦割りにしたグループ
- 学園全体を5つのユニットで構成し、理想的な規模で教育活動を展開
- 学園全体に校長1名、副校長1名、ユニットごとに教頭1名を配置し、きめ細かな効率的・効果的な学校運営が行われる体制を研究

ユニット制ならではの教育活動や学校行事（例）

- ユニット対抗の運動会・体育祭などの体育的行事
- 異学年グループによる縦割り清掃活動をととした社会性の育成
- 義務5年生からの50分授業、ユニット内で完結する完全教科担任制の展開
- 学習計画の立案や振り返りを定着させるための、義務5年生からの定期テストの実施
- ユニットごとに職員室を設置し、ユニット内で全ての教育活動を完結
- 学年やユニットを超えて、個人のテーマごとにグループを編成し学習を行うゼミ型の探究活動
- 午前中に学びの基礎を固めるSBL（Subject-based Learning：科目進行型学習）、午後に学んだ知識をアウトプットするPBL（Project Based Learning：課題解決型学習）の、理論と実践のバランスを整えた授業展開



5. 新しい時代の学校施設イメージ

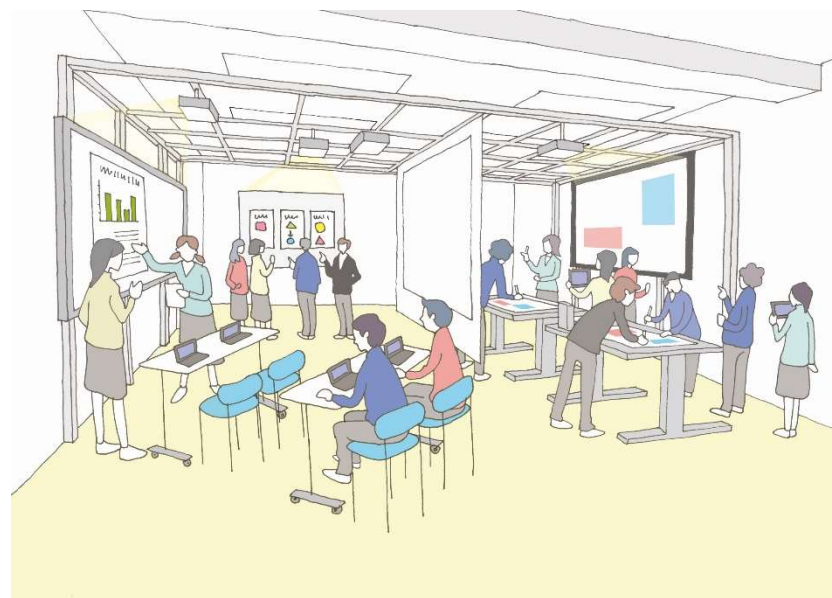


【文部科学省：「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」中間報告 より】



【柔軟で創造的な学習空間】

- 多様な学習活動を展開できる学習空間
- 様々なタイプの教室の有機的な連携・分担による多様な活動の展開



5. 新しい時代の学校施設イメージ



【学校図書館の整備】

- 学校図書館とコンピュータを組み合わせ
て読書・学習・情報のセンターとなる
「ラーニング・コモンズ」の整備



【文部科学省：「新しい時代の学びを実現する学校施設の
在り方について」中間報告 より】

5. 新しい時代の学校施設イメージ



【地域コミュニティの拠点】

- 地域や社会の人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動ができる共創空間を実現
- 学校施設を地域の人たちも利用し、多様な「知」を集積する共創空間を実現



【文部科学省：「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」中間報告 より】



6. 検討状況と今後のスケジュール

● 義務教育学校創設プロジェクトチーム

構想・理念	<ul style="list-style-type: none"> ● 義務教育学校制度に係る全体構想 ● 武蔵浦和駅周辺地区新設義務教育学校の基本理念
児童・生徒	<ul style="list-style-type: none"> ● 通学区域・児童生徒数 ● 周辺校を含む過大規模校等の適正化
組織・体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 教職員の円滑な組織体制 ● P T A、学校運営協議会等の組織体制
教育活動・施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校教育活動を踏まえた施設整備

● これまでに寄せられた主な意見

義務教育学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 転出する・転入してきた児童生徒への対応 ● 教育格差が生じるのではないかと、という懸念の払拭
学園構想	<ul style="list-style-type: none"> ● 通学路・登校班（特に、義務1年から義務4年の前期課程） ● 通学区域 ● 開校時期の前倒し
開校までの対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 通学路・登校班 ● 事業の進捗状況の公開・共有
市民プール・公園	<ul style="list-style-type: none"> ● 代替地の検討 ● 休止期間の短縮





6. 検討状況と今後のスケジュール

● 開校（令和10年度）までのスケジュール

事業	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
学校関係	基本計画	基本設計	実施設計		建設工事			<div style="border: 2px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 新設校 開校 </div> <div style="border: 2px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 沼影小 解体 </div>
沼影公園関係	事前調査	解体 実施設計		解体工事	都市計画決定解除			
	レジャープールの 方向性の整理							
	代替地の検討・確保							
		用地取得 (旧職員住宅)	実施設計 (旧職員住宅)	整備工事 (旧職員住宅)				
スポーツ 施設関係			整備手法等の検討			基本計画	基本設計	実施設計

※ R11年度建設工事着工予定



● 今後も、事業の進捗状況に応じて、説明会を適宜開催していきます

